

2 個別事業評価調査

団体名: 与謝野町

事業名		地域情報通信基盤整備事業					
事業の概要		平成18年3月に合併し、合併当初から加悦地域のみには有線テレビ放送及びインターネット通信サービスを提供しており、その他の地域との情報格差が問題となっており、その問題解消を図るために、平成20年度から加悦地域の放送サービスを岩滝地域、野田川地域にエリア拡張するための施設整備事業を進めている。 ・ケーブル移設工事 町道の拡幅工事等に伴い、有線テレビの光ファイバーケーブルが布設されている電柱の移設を行う。 ・公営住宅有線テレビ引込工事 町内の情報通信環境の格差を是正するために町営・府営住宅の有線テレビ引込工事を行う。 ・有線テレビ拡張事業 有線テレビ・インターネット通信サービス環境が未整備であった岩滝・野田川地域への拡張事業を実施し、情報通信基盤の格差是正を図る。					
		事業期間	平成22年8月2日～平成23年3月31日				
		総事業費	28,289	本年度事業費	28,289	交付金交付額	11,193
事業評価	事業の必要性	平成18年3月に合併し、合併当初から加悦地域のみには有線テレビ放送及びインターネット通信サービスを提供しており、その他の地域との情報格差が問題となっており、その問題解消を図るために、平成20年度から加悦地域の放送サービスを岩滝地域、野田川地域にエリア拡張するための施設整備事業を進めている。					
	事業の有効性	各家庭でテレビのデジタル放送受信が確保でき、また町からの行政情報、防災情報が各施設で受信できるため、住民の施設利用の利便性が向上し、併せて住民の安全・安心に寄与する。					
	事業の効率性	平成22年4月からサービス開始されているデータ放送では、行政情報や防災情報など様々な情報を提供しているが、特に防災情報については、防災告知放送と連動した情報提供を予定しており、公共施設が避難場所となった場合などには効率的な情報提供が行うことができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 本事業で整備されるFM告知放送端末により、災害等の緊急時に効率的かつ迅速に全町民へ情報伝達できるようになり、地域での防災や非難活動に役立つ。					
		3 リーディング・モデル成果 本町は、合併以降加悦地域のみには有線テレビ放送及びインターネット通信サービスを提供しているが、岩滝地域、野田川地域へのエリア拡張を行うことにより、地域間の情報格差解消を図るものである。					
4 広域的波及成果 町有線テレビ放送については、平成22年4月から通常の放送以外にも、住民サービスの向上を図るためにデジタル放送による行政情報、防災情報などの情報提供や併せて防災告知放送なども実施しており、今回の事業で未整備地域でもそれらのサービスを受けることができるようになる。							
5 行財政改革に資する成果 今回の整備により住民が利用できるFM告知放送やCATVにより、行政から様々な情報を効率的に発信し伝達することができるようになる。							
6 その他の成果 平成23年7月24日に地上アナログ放送が停波となり、それまでに住民のデジタル化の環境を整備する必要がある、今回整備するCATV網を利用することにより実現される。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。